

Hyogo大好き!

10号
2020年
秋号

兵庫県議会議員

相崎 佐和子

県政活動ニュース



9月定例会での質問

- ▶ 児童相談所、手が回っていない?! ～児相の対応力強化～
- ▶ 数学の先生が技術を教える?! ～免許外教科担任の解消～
- ▶ 男女共同参画は進んでいない?! ～男女共同参画計画の確実な検証～
- 「第29回 サワコの茶話会」やります 11月28日(土) / 14:00～16:00 / 東りいたみホール

2020年に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束が見えておりません。兵庫県においては、7月31日に陽性確認62人でピークだった第2波は落ち着いてきたものの、陽性の方を確認する日々が続いています。感染により亡くなられた方にお悔やみを、罹患された方にお見舞いを申し上げますとともに、最前線で尽力くださっている医療福祉従事者の方々などに心より敬意と感謝を表します。そして全ての方々が生活に多大な影響を受けていることを重く受け止め、県議会議員として今こそ心と力を尽くさねばと強く思っています。

■インフルエンザ流行への備えを!

これから何をすべきか。最優先は引き続きのコロナ感染拡大防止です。今、対策で多くいただくのは「インフルエンザ流行への備えを!」とのお声。季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行に備えた対策が喫緊の課題です。

兵庫県では、保健所を介さずPCR検査を受けられるセンターの拡充(8ヶ所→12ヶ所)、発熱

したら相談できる機関の整備(250ヶ所)、抗原検査の公費負担拡充(10,000→354,000件)など、体制強化に取り組んでいます。

■生活と経済を立て直し、そして新たな社会へ!

感染拡大防止に取り組んだ上で、生活と経済の立て直しを進めます。引き続きの制度融資・サプライチェーン(流通一連)の強化など経済の再構築に取り組むとともに、コロナで生活に困窮した方々のサポート・影響を受けた方々の雇用対策など生活の立て直しを支援します。そしてコロナを経験したからこそその新しい社会づくりを進めたい。コロナで浮き彫りになった課題を踏まえ、情報化・デジタル化、働き方の改革などに取り組みます。

徹底的な感染拡大の防止→生活と経済の立て直し→新しい社会づくりに取り組んでいきたい。その過程において、皆さんからのお声をしっかりお聴きし、真に私たちが求める施策を打ち出したいと強く思っています。全力で取り組みます。どうぞお声をお聞かせください。

9月定例会 本会議での質問 ご報告

◇兵庫県議会での本会議登壇は年に1回程度です。私自身が普段から課題に感じているテーマとともに、皆さんから頂戴したテーマをピックアップしています。

◇コロナ対策関係は、他議員から質問が相次いだため、あえて違う事柄を質問しました。

◇2回に分けてご報告します。質問テーマのうち「高校の特別支援教育」「信号灯器のLED化」は次号にて!



児童相談所、手が回っていない?! ～児相の対応力強化～

Q この10年間で相談件数が3倍以上に増加している児童虐待。最前線に対応に尽力しているのが「こども家庭センター（児童相談所）」で、県内に7ヶ所（神戸市立・明石市立を含む）あります。（伊丹市は「川西こども家庭センター」が管轄）そんな中、こんなケースが発生しました。

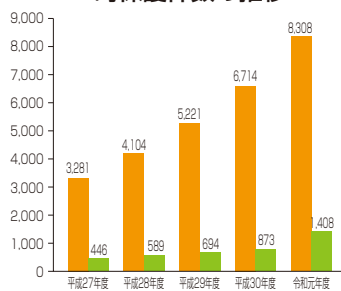
虐待の疑いのある生後2ヶ月の乳児をセンターが一時保護しましたが、保護者は全く虐待の覚えがなく、結局家庭復帰に1年3ヶ月がかかったとのこと。センターがきめ細かく一時保護するのは当然ですが、子どもや保護者にとっておつらい日々であっただろうと想像します。このケースから、センターの手が回っていない状況が浮かび上がりました。十分なマンパワーのもと、高い専門性で虐待防止に力強く取り組んでもらわねばなりません。

そこで、①医師のセカンドオピニオンの充実、②センターのハードソフト両面の体制強化、③一時保護の第三者チェックの仕組み強化、が必要ですが見解は?

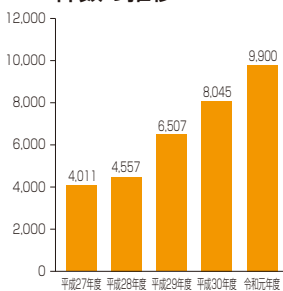
A 2021年4月に尼崎市・加東市にこども家庭センターを新設予定。児童福祉司や児童心理士などの人材確保を計画的に進め、多様な研修等を通して職員の専門性を高めている。援助方針の決定は、医学・心理・社会・行動を総合的に診断して慎重に判断しており、児童虐待等対応専門アドバイザーである医師にセカンドオピニオンも依頼するケースもあり。家庭復帰については、医師や弁護士で構成する第三者機関である家庭復帰等評価委員会の意見を聴取し決定。

こども家庭センター（神戸市・明石市含む）の児童虐待相談状況

(1)児童虐待相談件数
・一時保護件数の推移



(2)市町の虐待相談
件数の推移



相崎 コメント

センターの方々には本当に頑張ってくださいっていますが、とにかく余裕がありません。ソフトハード両面の強化が早急に必要です。センター増設と人員増加はもちろん、専門性の向上に取り組まねばなりません。県も課題認識していますが、まだまだ足りません。不幸な児童虐待を防止して、子どもを守り保護者をサポートしたい。引き続き声を上げます。

数学の先生が技術を教える?! ～免許外教科担任の解消～

Q 「免許外教科担任」とは、中学校や高校において教員が免許を所持していない教科を教える（例：数学の先生が技術も教える）というもの。教育職員免許法で1年に限り都道府県教育委員会の許可により認められたものです。少人数校などは全教科の免許を持つ教員を配置するのが困難だったり、免許を持つ教員が病気や育児で休業中だったり、このようなケースが生じています。「芸術つながりで音

楽と美術を」「男性なので技術も」「女性なので家庭科も」などあるとか。全国で年間1万件、兵庫県で191件（中学校180件・高等学校11件。2019年度）の免許外教科担任が実施されています。

免許を所持していない教員の指導による教育の質の低下、免許外の教科を担当する教員の負担増加などの課題があるゆえ、免許外教科担任はぜひ解消に取り組みたいと考えます。方法として、①教員採用試験での工夫（複数免許所持受験者へのインセンティブ付与など）、②複数校担当や遠隔授業、③免許の取得促進、など取り組み、解消を計画的に進めたいと考えますが見解は？

A 近年、少子化に伴う小規模校にて技術家庭など授業時間数が少ない教科の教員が配置できず、制度を活用せざるを得ない状況。県教育委員会は、複数免許保有者に優先的な採用・複数校の兼務・非常勤講師等の追加配置などの対策を実施中。今年度当初の免許外教科担任の件数は145件で、2016年度からは107件、42.5%の減少。兵庫教育大学では技術科の教職課程が開設。兵庫教育大学大学院への現職教員の派遣では技術科の免許取得希望者を優先的に派遣。遠隔授業も研究中。国への教員定数の改善、採用試験の工夫や人材の確保に努め、解消に取り組む。

免許外教科担任許可実績（過去5年）

（単位：件）

	中学校										高等学校			合計	対前年
	阪神	播磨東	播磨西	但馬	丹波	淡路	神戸市	私立	小計	県立	私立	小計			
H28 (2016)	47	37	44	56	7	17	29	2	239	12	1	13	252	-	
H29 (2017)	43	39	30	59	3	15	36	2	227	13	2	15	242	△10	
H30 (2018)	50	36	33	76	4	0	30	3	232	9	0	9	241	△1	
R1 (2019)	46	13	32	59	4	8	16	2	180	9	2	11	191	△50	
R2当初 (2020)	31	9	28	53	0	4	12	2	139	6	0	6	145	△46	
(R2追加)	1	3	2	0	0	0	0	0	6	1	0	1	7		

免許外教科担任許可実績（伊丹市）

（単位：件）

	理科	美術	技術	家庭	計
H28	1		1		2
H29			2	4	6
H30		3	1		4
R1				2	2
R2					0

相崎
コメント

教えるほうも教えられるほうも課題がある免許外教科担任は、ぜひ解消していきたいです。年々減少しているので少なくともこのペースを維持し、工夫を重ねていっそう解消を進めていきます。

男女共同参画は進んでいない?!

～男女共同参画計画の確実な検証～

Q 性別にとられ過ぎず1人の人間として個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会づくりを進めて、全ての方が生きやすい社会にしていきたいと思っています。国では「男女共同参画基本計画」が切り替え時期であり、次期計画に向けた意見（パブリックコメント）募集では5,700件もの意見が寄せられました。兵庫県でも「ひょうご男女いきいきプラン2020（兵庫県男女共同参画計画）」が切り替え時期です。そこで現計画を確認すると、26の目標数値のうち19項目が達成に至っていない状況です。例えば、民間等での女性管理職の比率は15.4%（目標数値25%）、保育所の待機児童数1528人（目標数値0人）、配偶者暴力相談支援センターを設置する市町は16市町（目標数値20市町）…。

実のある次期計画策定のために、①目標数値の達成状況の評価、②検証方法、③次期計画に求めらる観点について明確にすべきだが見解は？

A 計画目標26項目のうち16項目は80%以上の達成率であり、一定の成果は上がっていると考えている。例えば職員の女性管理職比率は策定時7%→15%で2倍以上になっている。他方で民間での女性管理職比率は目標を達成しておらず、女性ロールモデルの情報発信・女性の活躍企業育成プロジェクト等の取組を進める。次期計画は、審議会にて現状分析や取組の検証を実施中。女性から選ばれる兵庫を目指すこと、男性に関する重点目標の新設を図ることなど多様な観点から議論中。

相崎
コメント

県の男女共同参画計画、7割が目標数値を達成できていていません。しかし「80%達成できたものは多く、一定に成果は上がっている」とは! 国全体における男女共同参画の進捗が芳しくない現状ではありますが、ウヤムヤのまま県の次期計画を策定したくないとの思いから、質問に取り上げました。

今は計画切り替えの重要な時期です。なぜなら議論されるから。現計画の確かな分析検証→熟議→実のある次期計画の作成に取り組みます。

●知事に提言! ~重要政策提言~

9月15日、知事や教育長に対して会派(県議会のグループ)で9テーマ95項目にわたり政策提言しました。私からは①インフルエンザ予防接種について県助成を②児童相談所の充実を③次期の男女共同参画計画は確実に、など要望しました。来年度予算につながる貴重な意見交換の場となりました。



●姫路の新病院へ
~健康福祉常任委員 調査~

9月10日、所属する健康福祉常任委員会で播磨方面へ管内調査(県内視察)。中播磨・西播磨の健康福祉事務所でコロナ禍での状況をヒアリング。県立はりま姫路総合医療センターの建設現場も。統合しての新病院建設はノウハウやスキルを参考にしたい。



●全国の仲間とオンライン勉強会!

コロナ禍により、オンラインでの勉強会や会議が激増。

■「ローカル・マニフェスト推進連盟」(相崎は共同代表)
議会改革を進める全国規模の連盟。オンライン勉強会を何度も開催して、コロナ禍での議会のあり方、議会でのオンラインの活用方法などを議論。オンラインでの視察にも挑戦。

■「出産議員ネットワーク」(相崎は関西ブロック代表)

今秋は毎日曜日にオンライン勉強会。助産師会・一人親支援団体など、コロナ禍にて子育て関連で尽力された個人や団体の話を聞き、自分たちの自治体に反映。



●障がい者芸術作品がいつでも!
~原田の森ギャラリー~

10月20日(火)、障がい者の芸術作品を常設で展示するギャラリーが、県立美術館王子分館の原田の森ギャラリー(神戸市灘区)にオープンしました。豊かな創造の世界をもつ、障がいのある方々の作品。常設での展示スペースができたことは嬉しい限り。伊丹市でも検討したいものです。



お気軽におこしく下さい!

第29回 サワコの茶話会

- 日時: 2020年11月28日(土) 14:00~16:00
- 場所: 東りいたみホール 3階 大会議室
- 申込: お名前&連絡先をメール・電話・ファックスなどで(連絡先は下記)

飛び込み
歓迎!



~Profile~

- 1973年3月生
- 親和女子高校 ●奈良教育大学 ●// 大学院(政治学ゼミ)
- ORIXブルーウェーブ マスコットガール
- 地元ケーブルテレビ(現:ペイコム)アナウンサー
- 第12代兵庫県広報専門員
- 伊丹市議会議員(3期) ●第61代 伊丹市議会議員
- 阪南市議会議長会 会長
- 兵庫県議会議員(1期目)
- ローカルマニフェスト推進連盟 共同代表
- 出産議員ネットワーク 関西代表
- 第11回マニフェスト大賞優秀賞 受賞
- 小学校・中学校(社会)・高校(地理歴史) 教員免許
- 家族: 夫・長女(中3)・次女(小5)

情報はここから

- ★ホームページ▶<http://sawako-aizaki.com>
- ★ブログ▶<https://sawako-aizaki.hatenablog.com/>
- ★Facebook▶
<https://ja-jp.facebook.com/sawako.aizaki>
- ★ツイッター ★インスタグラム

活動ニュース

バックナンバーは上記HPに。
郵送希望はご連絡を

連絡先

発行元: 相崎佐和子
伊丹市西台2-5-11 松屋ビル2階
電話▶(072) 768-9260
FAX▶(072) 768-9261
メール▶sawako.aizaki@gmail.com